

切削液の浄化装置発売

ヤマグチ 異臭抑え環境改善

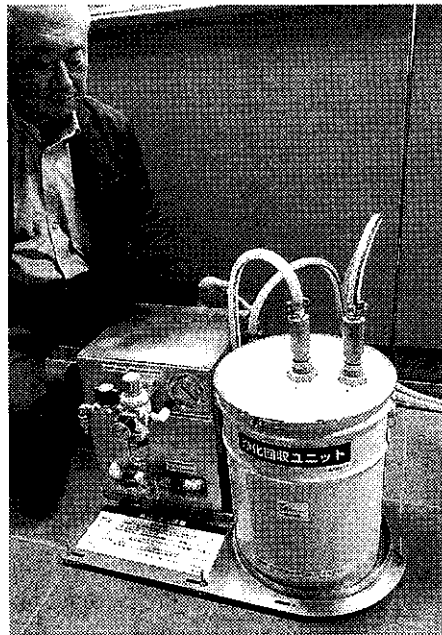
機械部品や工具商社のヤマグチ(本社名古屋市中区中割町4の40、山口繁社長、電話052・611・0069)は、切削加工設備で使うクーラント液などの水質浄化装置を発売した。クーラント液で生じる汚れや異臭を効果的に取り除くのが特長だ。クーラント液の交換の手間を減らすのに加え、異臭を抑え働く環境改善につなげられる。製造業の企業から潜在的な需要を掘り起こし、初年度は年200台の販売を目指す。

(勝又佑記)



山口繁社長

同装置は、切削加工設備の洗浄機などにつなげて使う。微細な穴を備えた活性炭で微生物を吸着し、銅イ



切削液などの水質浄化装置

オンで殺菌する仕組み。加えて細かな泡により小さな金属粉や油を浮かばせて効果的に汚れを取り除く。現在は切削加工設備のクーラント液などを定期的に交換したり、洗浄機を清掃する手間が発生していた。同装置を利用することでク

最大処理能力は1分当たり30リットル。駆動には圧縮空気を利用。電気なしで使え、工場の省エネルギー化にも貢献する。

クーラント液の水質浄化に加え、食品機械に使う水の浄化や井戸水の不純物除去など幅広い利用を見込む。装置の販売に加え、リースを行うことも検討する。さらに洗浄に関するコンサルティングを手掛けるHOKUSHIコンサルティンク(本社東京都)と連携し、顧客への細かな水質浄化に関する相談対応や助言も行う。

ホンダ、世界初レベル3自動運転車きよう発売



自動運転「レベル3」相当の技術を搭載した「レジェンド」

ホンダは4日、市販車では世界初となる「レベル3」の自動運転技術を搭載した高級セダン「レジェンド」を5日に発売すると発表した。高速道路での渋滞時にシステムが走行を担い、ドライバーは前を見なくてもよくなる。車内モニターでの動画視聴などが可能になり、運転から解放される。完全自動運転の実現に向けた大きな一歩になりそうだ。

自動運転に関する装置は、国が認める資格を持つ特殊な技術者が整備する必要があることなどから、100台の限定生産とする。3年のリース契約での販売とし、価格はメンテナンス料込みで1100万円。契約終了後は車両を返却する必要がある。

これまでのレベル2でも運転中にハンドルから手を離すことができたが、運転の主体はあくまでもドライバーだった。レベル3では自動運転時は運転の主体はシステムで、ドライバーは

速度が上がればが手動で運転す。

過疎地での足の解消といに向け、今後要なくなるレの発展が期待で実証実験が、米国や中を含めた開発うだ。

処方薬のロボット

パナソ

パナソニック、大手のアイエクス(HD)は、走行ロボット薬を宅配するめると発表し、薬指導を遠隔を前提にして、ロナウイルスの対面の抑

小型無人機

る配送実験が長崎県で実施政府が規制改る遠隔診療のみ、企業の動てきた。パナソニッ

中電がHACCPコンサル

衛生管理セミナーなど企画

中部電力の販売事業会社「食品事業者に対し、今年6

日祝日と年末年始。利用には事前予約が必要となる。なお、HACCP導入に関するセミナーは、今月12日、19日、26日に予定している。

このほか、海外企業との商談会を設けたり、外国人材について悪質な労働者の

今後全国に254ある信用金庫のネットワークを生かし、中小企業の参加を募る。

パナソニッ